レッスン：SPA/NO.44

テーマ：様々なピラミッドの目的

SPA44/KE8/MR4

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供たちよ。私たちは常に主、絶対、主の聖性によって抱かれています。

現在のパーソナリティーとしての人間は制限ある現れの世界に入ってきましたが、制限ある現れというとき、人間は実際何を現すことを期待されているのでしょうか？人間は「生それ自体」の特質を現すことを期待されているのですが、残念なことに現在のパーソナリティーとしての人間はその真の本質を現していません。そして勿論、前のレッスンで述べたように、それは「神の黙想」の結果なのです…それによってスピリットとしてのモナド・セルフがアウタルキーのなかで、そのモナド・セルフの悟り(realization)を現すようになるためです。それゆえに、現在のパーソナリティーとしての私たち人間はその真の本質を現していないのです。

人間は今、現れが制限されている世界にいますが、それらの制限、限界は大きな四面ピラミッドの下にある部屋によって象徴されています。そして、下というとき、その部屋が地のエレメントの中にあることを意味します。そこでは人間はどこに、どの方向にフォーカスしようとも、地にフォーカスしていることになります。なぜなら、人間は地のエレメントに囲まれているからです。そして人間はただ地のエレメントにだけ価値を認めています。

さて、人間が気づきのレベルとして自分の部屋から出る能力に到達するためには、多くの助け、物差しあるいは基準としての知識が必要となります。その物差しを使って自分の内側を吟味するのです。分析だけでは十分ではありません。言い換えれば、ある特定の仕方で瞑想するためにエクササイズが必要であり、それらのエクササイズはある一定のシンボルについて行わねばなりません。そして今までのレッスンで説明したように、それらのシンボルとはモニュメントです。なぜなら人間はそれらのシンボルを時の経過のなかで使用してきたからです。

私たちはそれらのモニュメント…それがピラミッドであろうと何か他のものであろうと…を永遠の今のなかに見いだすことでしょう。探求者が部屋のなかに築かねばならないシンボルのひとつはいわゆる小さな四面ピラミッドであり、それは自分の部屋から出る人間の能力を象徴しています。能力と言うとき、それは人間がこのモニュメント、このシンボル、このピラミッドをマスターするレベルに到達するとき、人間はその部屋を後にして地上に置かれている大きな四面ピラミッドのなかに立つ自分自身を見いだすことになります。

さて、前に説明したように、ピラミッドは部屋よりも高くなっており、頂上は部屋の外にあります。頂上が部屋の外にあると言うとき、そこには実際頂上はありません。それは人間の気づきのサイズによって完成されるのです。人間がその現れのレベルに到達する時、それはつまり小さなピラミッドをマスターするということですが；その時、探究者としてのあなた方は今やこのピラミッドを築いていることを期待されています。なぜなら、マスターするレベルに到達するためには、あなた方は他のタイプのピラミッド、つまり三面、五面、そして円錐つまり一面ピラミッドのなかで多くのワークをしなければならないからです。

四面ピラミッドはあなたがそれを築く時、そこには本当の実体があります；三面ピラミッドおよび五面ピラミッドについても同じことが言えます。一面ピラミッドに関して言えば、このピラミッドは他の二つのピラミッド、つまり三面および五面ピラミッドをある程度マスターすることを意味しています。四面ピラミッドについてはどうでしょうか？しかし実際には仕事は四面ピラミッドにあります。あなた方は四面ピラミッドをマスターする必要があります。四面ピラミッドについてどの程度マスターしたかは、一面ピラミッドに関する現れについてどの程度マスターしたかによります。そして一面ピラミッドをマスターするということ、それは一面ピラミッドから全ての方向に放射される輝きとして表現されます。

Page2

前のレッスンで説明したように、一面ピラミッドは光を内側ではなく全ての方向に限界なしに放ちます。この光の輝きは現在のパーソナリティーの現れのレベルに比例します。実際、その光は三面ピラミッドから来ます。

三面ピラミッドは現在のパーソナリティーが部屋にいる間、素質的可能性としての可能性を提供します。三面ピラミッドには三角形としての三つの等しい辺があります。どのサイド（面）も底面になることができ、それは「生」のスパークの無限性を示しています。なぜなら、三面ピラミッドは「生それ自体」のスパークを示しているからです。しかし、人間が「生それ自体」の特質を現していない理由は、人間が自らの現れとして他のピラミッド、つまり五面ピラミッドを使用しているからです。

まず、人間は五面ピラミッドをマスターしておらず、何であれこのピラミッドが提供するなかで、底面にごく近いものだけを現しています。底面の方からスタートし、このピラミッドをマスターするために徐々にゆっくりと上の方に昇っていきます。そうすることによって、人間はもっともっと意識的に真の感覚、いわゆる超感覚の使用を通じて自分を現わすようになります。これが五面ピラミッドの意味です。

さて、問題は五面ピラミッドは人間が部屋のなかにいる間にそれをマスターする可能性を提供するのか否か、です。答えはノーです。そして、実際、前に説明したように、その可能性を提供するのは五面ピラミッドではなくて三面ピラミッドなのです。そして三面ピラミッドは部屋のなかにいる間は、そのピラミッドをマスターする可能性を提供しません。

前にレッスンで、三面ピラミッドと五面ピラミッドの高さは全く同じであると述べました。また五面あるいは三面ピラミッドを回転させることによって自動的に一面ピラミッド、円錐ができると言いました。それらのいずれかを回転させると、底面である円ができます。その円形の底面は三面であれ五面ピラミッドであれ全く同じサイズです。

実際に、もしあなた方が円錐と同じ円の底面をもつ五面ピラミッドを築く場合、（＊）五面ピラミッドの）高さはより高くならねばならないことを意味します。過去に、五面ピラミッドをマスターすることはそのパーソナリティーが五芒星をマスターしたことを意味する、と述べました；（＊五面ピラミッドの）側面を内側に折ると、自動的に五芒星ができます。それが五面ピラミッドをマスターすることの意味です。五面ピラミッドの側面、サイドの高みに到達することなのであり、サイドを内側に折ると五芒星になります。

しかし、部屋のなかにいる間は、これは不可能です。可能なことは、現在のパーソナリティーが以前よりもより意識的に五つの超感覚を使用するレベルに到達することです。ですから、高さは何であれ三面ピラミッドが素質的可能性として提供するものにマッチして低くなります。ですから、それらは全く同じ高さであり、それらのサイドの角、つまり頂点は少し内側になり、サイドより短くなります。そしてサイドが内側に折られている時にその形を回転させると、もう少し小さな円ができます、より小さな底面です。それについては後で詳しく話します。今はただ述べるだけに止めます。今のところ、底面は全く同じでしょうか？私たちは五芒星を完成、あるいはマスターしていません。五芒星は築かれましたが、今のところまだマスターしておらず、三面ピラミッドについても同じ事が言えます。

ですから、同じ高さの三面ピラミッドと五面ピラミッドがあります。もう一度繰り返しますが、その理由は部屋のなかにいる間、三面ピラミッドがあるレベルの可能性を現在のパーソナリティーに提供しているからです。誰かが部屋を出るためには、その人は一定のレベルの現れに到達する必要があります。言い換えれば、一定のレベルのイニシエーション、一定レベルのサイコノエティカルな成長を果たしている必要があるということです。そしてそのレベルは全ての人にとって同じです。過去に私はあなた方に、この世界に全く同じ「思考の・行動の仕方」を現している人はいない、と述べました。そしてそれは本当です。しかし、誰かがある所へ到達する場合、その距離は全ての人間にとって、この諸宇宙の全ての人間にとって同じです。あるポイントから別のポイントまでの距離は誰にとっても全く同じです。それぞれ異なった個人であり、その色合いは異なっていても、全ての人間が同じ距離をカバーするのです。過去に、サイコノエティカル界には49の層と亜層がある、と言いました。しかし、これらの層のなかには無数のサイコノエティカル界があるのです、宇宙における人間の気づきの数ほどあります。どれぐらいあるのでしょうか？数え切れません。

Page3

ですから、人間が自分の部屋から出るのを助けるのは小さな四面ピラミッドなのです。

大きな四面ピラミッドの場合、その中にも同じようなピラミッドを私は持つことになるのでしょうか？そこでは異なっており、それらのピラミッドについては将来お話します。小さな四面ピラミッドは人間が部屋から出るのを助け、大きな四面ピラミッドは現在のパーソナリティーが自己実現に到達するのを助けます。

自己実現に到達する前に五面ピラミッドをマスターすることは可能でしょうか？それに対する答えはイエスでありノーです。もしその人が頂上まで上る途上において、自分の現れのために五つの超感覚を完全に使用するなら、答えはイエスです。しかし、このピラミッドを完全にマスターするということは、人がこのピラミッドの使用を後にして、自分を守るために五芒星のみならず六芒星をも使うことを意味します。しかし、それは自己実現への到達を意味します；それは五つの超感覚の代わりに同調（アチューンメント）を使用することを意味します。

さて、これら全てについて語っても、それらは単に理論に過ぎません。なぜなら、たとえ人が自己実現のレベルに到達しても、人はそこに留まることはないからです。人は再びバイブレーションを下げ、再び五つの超感覚を使用します。さらには他の同胞たちを助けるために自分の現れとして五感さえも使います。しかし、その人は五つの超感覚、さらには完全な同調を使うことによって超意識的に自分の現れのバイブレーションを上げることができます。

以前のレッスンで述べたように、これら様々なタイプのピラミッドについて詳細を提供します。詳細と言う時、それはあなた方がピラミッドのなかで行うべきことです。やるべきワークはたくさんあります。それによって一面ピラミッドについての結果を得、同時に他の全てのピラミッドに関する結果をも得ます。そして部屋のなかにいる間にやるべき仕事は、蓋然的可能性(probability)のサイクルの限界のなかに留まることなく、三面ピラミッドから与えられた素質的可能性(capability)のサイクルを完全に現すことです。

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

**質問**：この部屋のあなたの机の上にある四面ピラミッドには頂上の部分がありませんが、それは重要なのではないかと思います。エジプトの大ピラミッドにも頂上の部分がありません。その部分はピラミッドとは別にヘリオポロスという神官が所有し、古代エジプトにおけるもっとも聖なる物の一つと見なされており、ベンベクス石（benbex stone）と呼ばれていました。；また米国のドル紙幣の裏にあるバラ十字のシンボルにも頂上の部分が欠けています。それはピラミッドとは分離されていて、神の目と呼ばれています；バラ十字のシンボルとエジプトの大ピラミッド、そしてあなたの机の上のピラミッドの間には何か関係があるのでしょうか？

**Ｋ**：人が頂上に立つ時にそれが完成されると言うとき、それはそのピラミッドをマスターするという意味です。肉体のサイズではなく、サイズ、つまり気づき、意識のレベルのサイズです；このピラミッドの上に立つのは意識の現れとしての気づきのレベルです。なぜなら、もし五芒星のサイズを取る場合、それは四面ピラミッド内および他のピラミッドにおける人のサイズを意味し、サイズ、頂上はずっと高いということを意味したかもしれませんが、そうではありません。人がピラミッドの上に立つと言う時、それは現れのサイズ、その人の真なる本質の特質をどれだけ現わしているか、を意味します。

**質問**：それでは私たちの真の本質とは神とのワンネスということでしょうか？

Page4

**Ｋ**：部屋のなかでは私たちは真の本質を完全には表現していません。たくさんの制限、限界を現していますが、将来大きな四面ピラミッドのなかに立っている自分を見いだすことができるように、（＊限界のなかで）自分を表現します。真のワークは大きなピラミッドのなかでスタートします。ですから、部屋があり、四面ピラミッドがあり、四面ピラミッドのなかには三面および五面ピラミッドがあり、五芒星はこれら全てのピラミッドの真ん中にあります。そして三面および五面ピラミッドは底面を共有しており、同一です。同一という意味は、四面ピラミッドのなかに円があり、円は三面および五面ピラミッドが共有している底面です。もしそれらのピラミッドを回転させると円の底面が形成され、それは一面ピラミッド、円錐の底面です。

**質問**：誰もが到達すべきイニシエーションがあると言いましたが、小さなピラミッドから出るために特定の数があるのでしょうか？もしあるなら、どういうものなのでしょうか？

**Ｋ**：ありません。イニシエーションの数は人によって異なります。最初のイニシエーションは人が部屋の境界から自由になるためのものです。それが第一のステップ、最初のレベルであり、それはモニュメントのなかでさえあったのです。しかし、その当時の人間に対するものは異なっていました。異なって解釈されていました。

**質問**：地上にある大きな四面ピラミッドにも同じように頂点、てっぺんの頂がないのでしょうか？

Ｋ：もちろん、ありません。そしてそこはファラオが立っていた場所です。彼らもまたヘブンを自分たちの気づきのレベルへと低め、肉体の高さでそこに立つことによって神に到達しているものと見なしていました。それゆえに、そこに立つことで彼らはノエティカルな太陽に同調しようとしたのです。

**質問**：彼らは肉体的に頂に立ったのですか？

**Ｋ**：勿論です。

**質問**：しかし、どうやってピラミッドの頂まで到達できたのですか？

**Ｋ**：やり方、メソッドがあったのです。そして、そこに立つことができたのはファラオだけでした。

**質問**：彼らは内側から登ったのですか？

**Ｋ**：今のところはそれについてはノーコメントにしておきます。恐らく将来は、「彼らがどのようにして異なった素質的可能性(capabilities)を使用していたか、彼らが何を現していたか、それらの素質的可能性を現していた原因は何か、スフィンクスと四面ピラミッドとどちらが先にできたのか？」などについていくらか分析するかもしれません。これはあなた方で考えてみてください。私はお話しません。

**質問**：年代的にという意味ですか？

**Ｋ**：違います、年代的にではありません。あなた方が見いだすのです。調査し、それが同じものを意味するのかどうかと。古代においては人間は、例えば様々な達成、つまり素質的可能性の表現という意味ですが、そのために多くのシンボルを使っていました。それは彼らの書き物のなかにたくさんあります。

**質問**：神話のなかということですか？

**Ｋ**：いいえ、神話ではありません。つまり、彼らの使っていた言葉はずっと深淵なものなのです。書かれていたもの、あるいは書き物として彫られていたものの意味は、現代の専門家によって解釈されたものより遙かに深いものでした。だからこそ、私は前に「エジプトの死者の書」と呼ばれるものの中には多くのことがある、と述べたのです。

**質問**：つまり、今あるのは正確な翻訳、解釈ではないということですか？

Ｋ：専門家たちは何であれその本のなかに書かれているレベルに到達できないのです。レベル、意味のレベルに。

**質問**：例えば、例え話のようにですか？同じ文を読んでも、人々はそれを間違って理解するというようにですか？

**Ｋ**：それだけではありません。例え話に書かれたものだけではありません。解釈だけではなく、様々なレベルのコードと言ったらいいでしょうか。そして勿論、その時代の人々全員が異なった認識レベルにアプローチできたわけでもありません。

Page5

**質問**：スフィンクスとピラミッドに戻りますが…遠隔透視でおそらくもっとも有名だと思われる人がいます。つまり、時代を遡って透視し、何万年も前はどうだったかを見る人です。私の友人がその人に古代のエジプトを透視するように依頼したのですが、その人が見たのは水に囲まれた三つのピラミッドで、スフィンクスはありませんでした。それには何か意味がありますか？

**Ｋ**：実際、ピラミッドが水で囲まれていたことは一度もありませんでした。しかし、それについては説明が必要かもしれません。前に話したように、水のエレメントは現在のパーソナリティーの二つの実体、つまり現在のパーソナリティーを意味するサイコノエティカル体としての真の実体、そして現象的実体としての肉体、この二つを結びつけます。前に述べたように、肉体は水のエレメントおよび他のエレメントによって活性化されます。水のエレメントがないと地のエレメントは形を取ることができません。水によって活性化されるので形を取ることができるのです。

　それゆえに現在のパーソナリティーが肉体から離れる時には、地のエレメントから最初に離れるものは水のエレメントであり、その時に初めて肉体は崩壊するのであって、それ以前ではありません。

ですから、もし誰かが時のなかで昔の何かを見るとき、それは水のエレメントによるのです。そして、モニュメントであれ何であれこのエレメントが取り囲んでいるのを受け取ります。言い換えれば、この水のエレメントを見るというのは幻想、イリュージョンなのです。しかし、いかなるモニュメントであろうと存在するためには、水のエレメントのゆえにそこにあるのです。どのような形成か、言い換えれば、実際どのようなバイブレーションかは全く別の問題です。しかし、それは水のエレメントです。そしてまた、スフィンクスその他の石が浸食されているのは水流によるものである、という説がありますが、それは違います。それはカムシン（＊３月から５月にかけてサハラ砂漠からエジプトに吹き込む乾燥した熱風）と呼ばれる砂嵐によるものです。実際、それらのモニュメントが立っているということは驚くべきことです。

**質問**：地質学者の友人たちは、これは風による浸食ではなくて水による浸食だと主張しており、風による浸食と水による浸食は全く違っていると言います。水による浸食は水路に深い溝を作りますが、風による浸食は窪み、シャベルですくったような穴を作ります。

**質問**：でも彼らはこれは水による浸食だと主張しています。

**Ｋ**：とんでもないです。その地域では違います。今あなた方が練習できることはこれです。これから再び前に述べたように部屋からスタートします。部屋にいる自分を見ます。重要なことは部屋があなた方自身に提供しているものを感じることです；そして覚えているかもしれませんが、部屋のなかにぼんやりとした霧がかかっており、それが視界を制限しています。それを思い出してください、前にそう言いました。しかし、この霧のなかであなた方は自分をオープンにして何であれ感じるようにする必要があります。しかしあなた方が感じるのは気持ちの良い感覚であるべきであり、嫌な感覚ではありません。というのも、視覚が霧で制限されているので嫌な鬱陶しい感覚ではないかと考える人がいるかもしれないと思うからです。それは嫌な感覚ではありません。気持ちの良い感覚です。なぜなら、あなた方は水のエレメントに包まれているからであり、あなた方はこのエレメントによって活気づけられています。

霧は水のエレメントを意味します；視野は制限されていますが、それはあなた方が自分を現わすために意識的に五つの本当の感覚を使わないからです。あなた方は五感を使って高次のバイブレーションを解釈することはできません。高次のバイブレーションのなかへ入ることはできません。しかし、あなた方に課せられた仕事はそこに入ることです。

あなた方が行うべきエクササイズの一つは、部屋のなかにいる自分を見いだすことです。小さな四面ピラミッドのなかにいる自分を見いだし、常にそのピラミッドの四つのサイドからの異なった輝きから影響を受けるようにします。あなた方のなかで、意識的にではなくても、ある程度潜在意識的にでも他のピラミッドをすでに築いた人は、その部屋からの影響、および他の全てのモニュメントからの影響は違ったものとなるでしょう。あなた自身に前とは異なったインパクトを与えることでしょう。

EREVNA/SPA44/KE8MR4

SPA/44 5END